

3 人材育成活動

□生涯学習分野

大学公開講座・公開授業

大学公開講座とは、「大学において、その教育機能や研究の成果を広く社会一般に開放するために、その大学の教員が中心となり、一般社会人を対象に講義等を行う事業の総称」である。

滋賀大学における公開講座は昭和 52 年度より開講され、その運営は、各学部から選出された教員で構成される「公開委員会」の審議に基づいて、学生部により実施されてきた。しかし、平成 6 年度の生涯学習教育研究センター（現・社会連携研究センター）の設置に伴い、平成 9 年度以降の公開講座の企画・運営はセンターが中心となって行い、それに「公開講座委員会」が協力することとなった。その後、大学の法人化（平成 16 年度）に伴い、「公開講座委員会」は、「公開講座部会」（部会長は理事）に再編され、今日に至っている。

現在、滋賀大学は、土日に一般市民を対象とした講座を開講する「従来型の講座」に加えて、正規の大学の授業を市民に公開する「公開授業」や大学から遠方にある地域に大学がアウトリーチして講座を開講する「地域巡回講座」を開講しており、社会連携研究センターは、特に「地域巡回講座」の企画に関わっている。

平成 24 年度の「公開講座」は、以下の 8 講座である。

- 私たちの暮らしと「お金」を考える - 自己責任時代の「マネープラン」と人生設計-
- グローバル時代の日本経済の針路
- 大津の魅力にせまる
- 音楽実技（ピアノ講座）
- 音楽実技（声楽講座）
- 音楽実技（ソルフェージュ講座）
- 英語の発音を学ぼう
- 国際政治と国内政治の相互作用について考える

また、「公開授業」は教育学部と経済学部の開講科目のうち 47 科目が一般市民に公開された。

上記の講座のうち、社会連携研究センターが担当したのは、「大津の魅力にせまる」であり、大津市民会館・大津公民館との共催で開催された（受講者数 78 名）。講座の概要とプログラムは以下の通りである。

【講座概要】

大津のまちには、古い歴史や豊かな自然が存在します。しかし、普段その素晴らしさに気づかず、大津を訪れた人たちから大津の素晴らしさを指摘され、改めてその良さを再認識させられたりすることがあります。

この講座では、大津の歴史、文化、自然にスポットをあて、これまであまり知られてなかった大津の魅力を再発見し、改めて大津の良さを見直すきっかけづくりを行うことを目的とします。

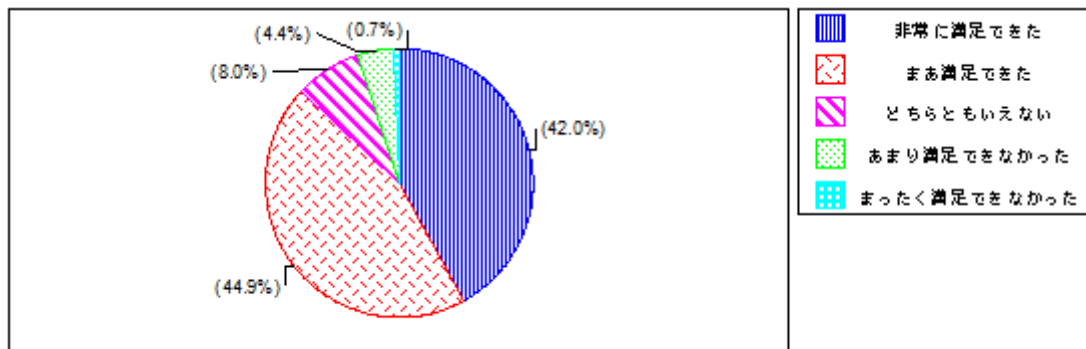
【プログラム】

- 第 1 回 大津の歴史（滋賀大学名誉教授 小笠原好彦）
- 第 2 回 大津の文化（滋賀大学教育学部教授 秋山元秀）
- 第 3 回 大津の自然（滋賀大学名誉教授 横山和正）

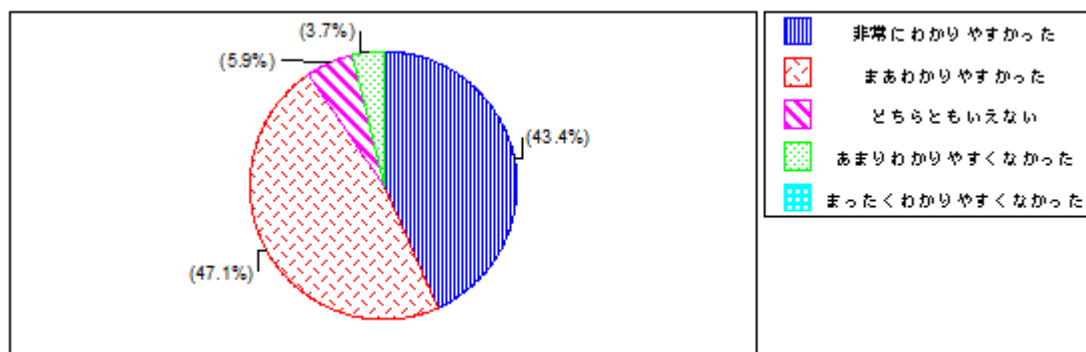
受講者のアンケート調査の結果は以下のとおりである。

(文責 教授 神部 純一)

【図 1 受講満足度】



【図 2 学習理解度】



【図 3 今後の受講ニーズ】

